

令和6年度有機フッ素化合物（P F O S等）調査結果

1 環境調査結果

（1）概要

地下水（湧水）及び河川水のP F O S（ペルフルオロオクタンスルホン酸）及びP F O A（ペルフルオロオクタン酸）の調査を実施しました。

種別	内容	調査地点数 (うち暫定指針値*超過地点数)
継続監視調査	これまで暫定指針値を超過した地点の継続監視	10地点 (9地点)
追加調査	暫定指針値を超過して検出された地点の周辺調査	8地点 (3地点)
湧水及び河川水調査	これまで未調査である、湧水及び河川水（八瀬川）の状況把握	7地点 (0地点)

※ 公共用水域及び地下水における暫定的な目標値（令和2年5月28日 環水大水発第2005281号及び環水大土発第2005282号水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について）

（2）測定方法

令和2年5月28日 環水大水発第2005281号及び環水大土発第2005282号 付表1

（3）結果一覧

種別	採水日	調査地点	区分	P F O S (ng/L)	P F O A (ng/L)	合計値 (ng/L)
継続監視調査	7月3日	南区下溝 (道保川泉橋)	河川水	88	18	100
	10月9日	南区上鶴間本町	地下水	35	3.9	39
	10月9日	中央区星が丘	地下水	190	51	240
	10月10日	中央区清新	地下水	95	23	110
	10月10日	中央区上溝 (道保川公園下流河川水)	河川水	120	32	160
	10月10日	中央区上溝 (道保川公園)	地下水	130	32	160
	10月10日	中央区上溝 (道保川公園上流水路)	河川水	170	42	210
	10月15日	中央区田名	地下水	64	10	74

	10 月 15 日	中央区南橋本	地下水	20	850	870
	10 月 18 日	中央区矢部	地下水	45	12	58
追加調査	10 月 1 日	中央区下九沢	地下水	19	26	45
	10 月 1 日	中央区横山	地下水	270	64	340
	10 月 1 日	中央区清新	地下水	16	19	36
	10 月 1 日	中央区千代田	地下水	25	5.1	31
	10 月 2 日	中央区南橋本	地下水	330	220	550
	10 月 2 日	中央区小町通	地下水	550	120	680
	10 月 2 日	緑区橋本台	地下水	3.5	6.8	10
	10 月 2 日	緑区橋本	地下水	17	8.5	25
湧水及び河川水調査	10 月 10 日	南区磯部	湧水	2.4	2.9	5.3
	10 月 10 日	南区当麻 (当麻山公園)	湧水	11	5.4	17
	10 月 10 日	中央区田名	湧水	6	3.9	9.9
	10 月 15 日	中央区田名塩田	湧水	7.3	14	21
	10 月 15 日	中央区上溝	湧水	7	7.8	14
	10 月 15 日	緑区大島 (大島中ノ郷のヤツボ)	湧水	3.1	3.1	6.3
	10 月 15 日	南区当麻 (八瀬川無量光寺下)	河川水	14	6.4	21

* 報告下限値 (0.3 ng/L) の桁を下回る桁は切り捨て、有効桁数 2 桁で処理しているため、合計値は必ずしも「PFOS」及び「PFOA」の和と一致しません。

* 暫定指針値は「PFOS」及び「PFOA」の合計値として50ng/L以下とされています。

* ng (ナノグラム) は、10億分の1グラムの質量を表します。

2 道保川生物調査結果

(1) 概要

道保川に生息している生物（ドンコ、カワムツ及びアメリカザリガニ）のP F O S及びP F O Aに係る含有量について、状況を把握するため調査を実施しました。最大値は、P F O Sについてはカワムツの26,000pg/g-wet、P F O Aについてはアメリカザリガニの360pg/g-wetでした。

(2) 調査方法

令和4年度化学物質環境実態調査（環境省）に準じた方法

(3) 結果一覧

採取日	採取地点	生物種	P F O S (pg/g-wet)	P F O A (pg/g-wet)
10月11日	道保川 松原橋周辺	ドンコ	12,000～19,000	<20
		カワムツ	24,000～26,000	<20～23
		アメリカザリガニ	4,700～6,900	340～360

*「<」は、未満を示します。

*【参考】令和4年度化学物質環境実態調査（環境省）における魚類の調査結果の最大値は次のとおり。

P F O S : 7,200pg/g-wet、P F O A : 47pg/g-wet

*pg（ピコグラム）は、1兆分の1グラムの質量を表します。